

国立国会図書館 大悲の智恵話 : 3巻 207-408

ガラス使用

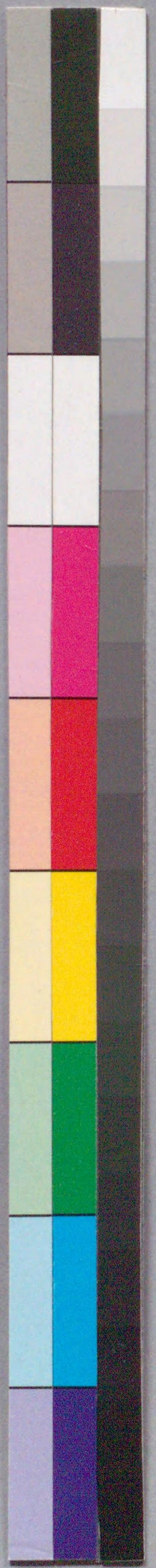


唯頼  
大悲の智恵話

完

207  
408

寛政九年





唯頼三叟六道一切衆生と大慈大悲の方便妄語  
手練手管も妙智力無量薩埵を狂言綺語讚佛  
上戸の盃は向へて違ふ心如海涅槃の床は三蒲  
團も弘誓の舟は舟枕圓通言は顧外は洒落が切下  
六欲の街は迷入心淳世の夢の覺際も親仁が苦面乃  
頬面も十一面とある昔は何故尻喰観音を忍んやと  
胸乃三妙算盤も六通の惡ひ酔が身は枯木は花の  
作者が趣向是れ金仙の方便と買ッ忘やと云

主月陽吉旦

式亭主人戯題



































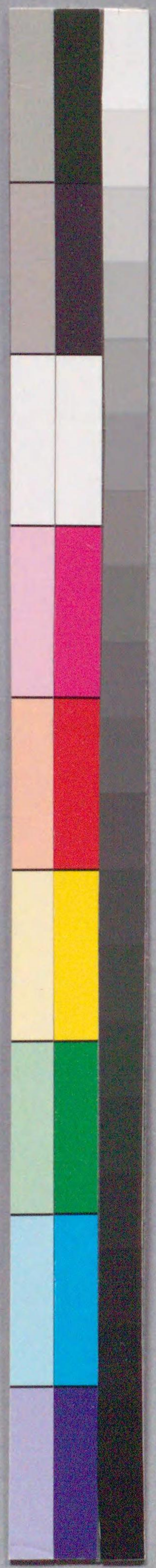




















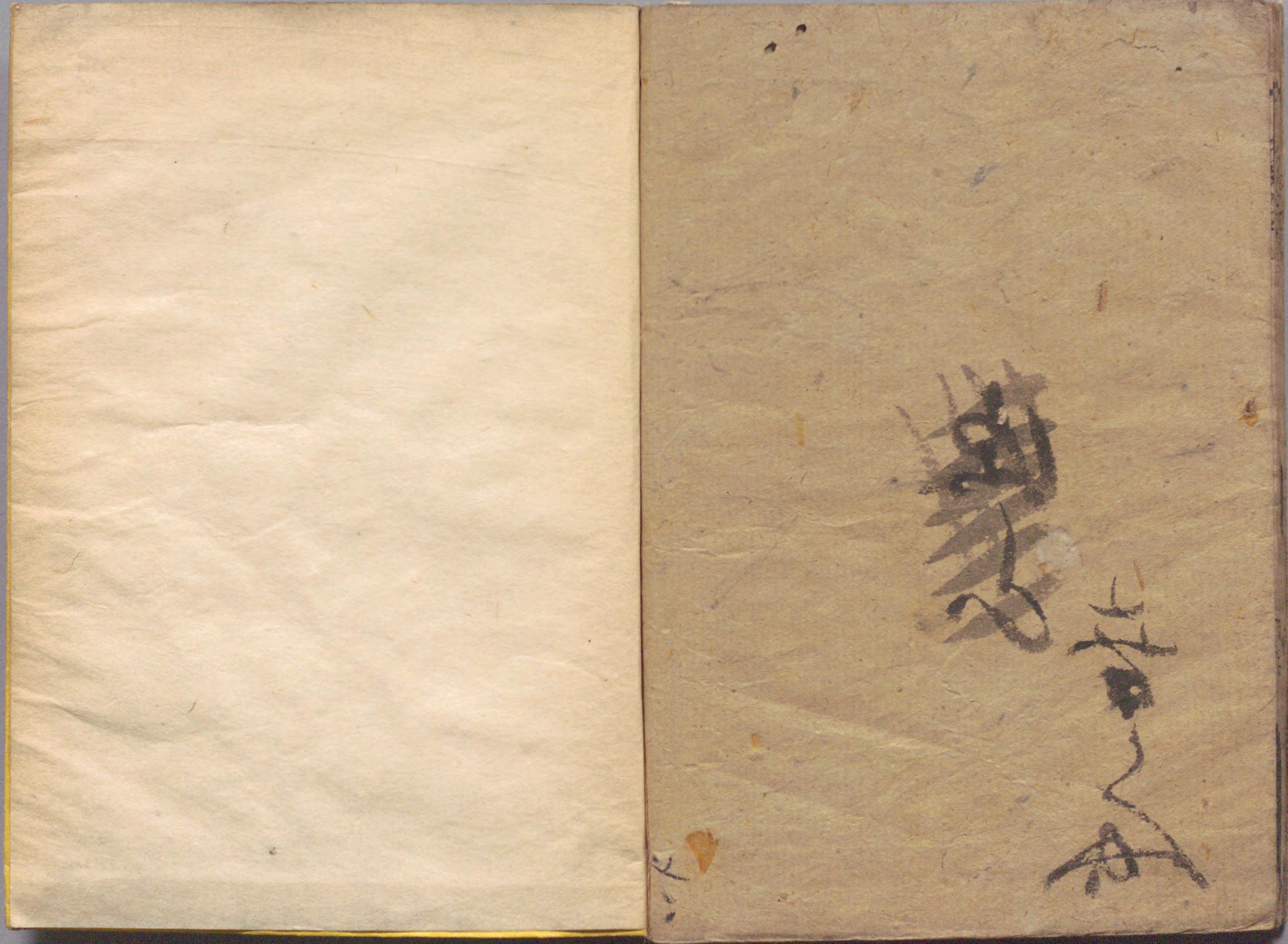
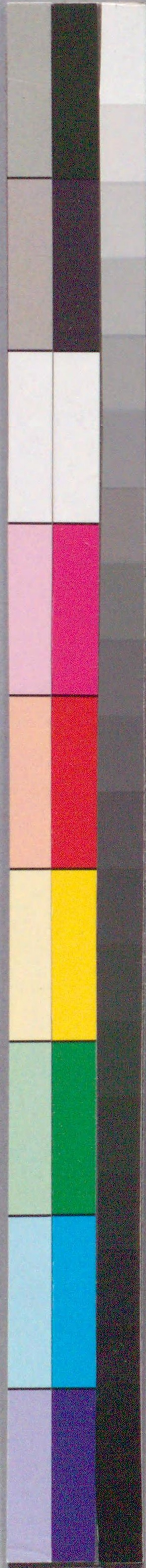










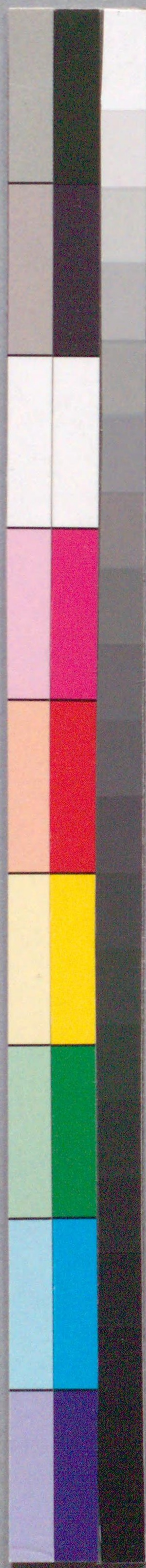


国立国会図書館 大悲の智恵話：3巻 207-408

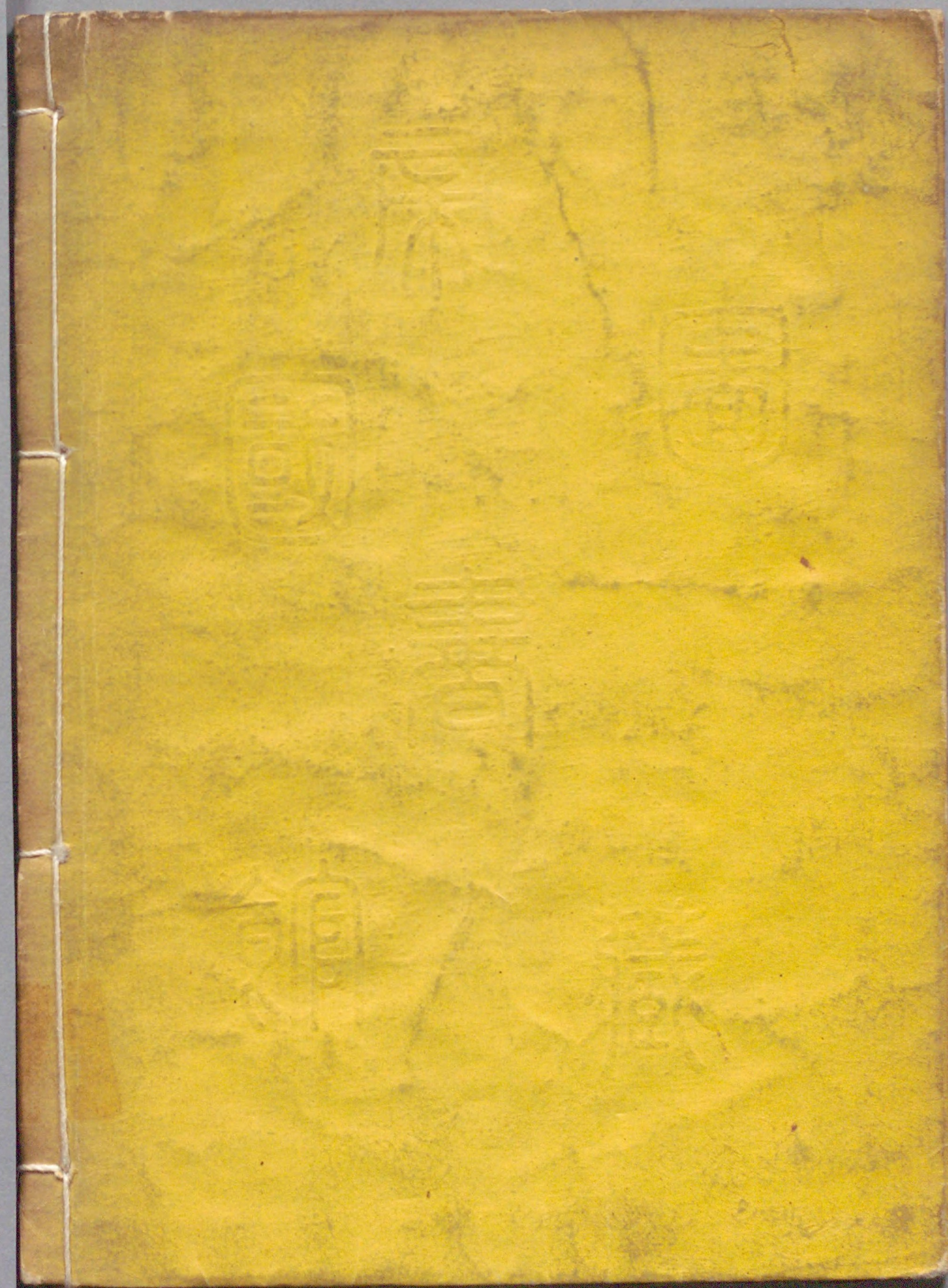
ガラス使用







国立国会図書館 大悲の智恵話 : 3巻 207-408



ガラス使用

